

| 様式 1 | | 令和3年度 清瀬市立清瀬第七小学校 | | 学校評価計画 | |
|---------------------------|---------------------------------|--|--|--|--|
| 学校の教育目標 | | 育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動 | | | |
| ○健康で強い子 ○思いやりのある子 ○よく考える子 | | 【育成を目指す資質・能力】 ○健康で強い子…すすんで健康保持増進に努める意欲、基礎的な運動の技能、健康についての知識 ○思いやりのある子…他者の気持ちを理解する力、共感できる力、他者との違いを認める力 ○よく考える子…基礎的な知識・技能、論理的思考力、問題発見・解決能力、自分の思いや考えを豊かに表現する力 | | | |
| 目指す学校像（ビジョン） | | 【特色ある教育活動】 ◎学校図書館を活用した問題解決能力の育成…調べ学習室の充実と活用、タブレット端末などICT機器の活用促進 ◎障害者理解の促進…通常学級と特別支援学級との交流学習、特別支援教室についての情報発信 | | | |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題 | | 【成果】○学年×10分の家庭学習を8割の家庭で実施（家庭学習の定着） ○カリキュラムマネジメントの視点からの年間指導計画の改善 ○調べ学習室やタブレット端末の日常的な活用 ○学校ホームページによる情報発信の定着 【課題】○タブレット端末の活用の一層の促進（問題解決能力及び情報活用能力の育成） ○体育授業、体力向上の取り組みの一層の充実（体力向上） ○特別支援教育のさらなる充実および保護者への啓発促進 ○学校支援本部（ななサポ）と連携した地域素材・人材を生かした活動の充実 | | | |
| 柱 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 取組指標（評価基準） | 成果指標（評価基準） |
| 確かな学力の向上 | 基礎的な知識・技能を身に付けさせる。 | 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を再認識させるとともに、学びに向かう意欲が高められるような授業を実践する。 | 授業改善推進プランの作成などを通して授業改善を行い、児童の学習に対する満足度を高める。 | 4 授業改善推進プランの作成などを通して授業改善を行った(全教員) 3 授業改善推進プランの作成などを通して授業改善を行った(教員の90%以上) 2 授業改善推進プランの作成などを通して授業改善を行った(教員の80%以上) 1 授業改善推進プランの作成などを通して授業改善を行った(教員の80%未満) | 4 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(90%以上) 3 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(80%以上) 2 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%以上) 1 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%未満) |
| | | 家庭と連携しながら毎日学習する習慣を身に付けさせ、基礎・基本の定着を図る。 | 児童が家庭学習に(学年×10分以上)取り組めるよう、内容や分量などを精選する。 | 4 家庭学習の提供を毎日実施(全学級で実施) 3 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級90%以上) 2 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級80%以上) 1 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級80%未満) | 4 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(90%以上) 3 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(80%以上) 2 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(70%以上) 1 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(70%未満) |
| | | 互いに認め合い、共感し合える関係を築き、人権尊重の精神を培う。 | 登下校時のあいさつ励行や来客への会釈など、継続的な生活指導の実践を行う。 | 4 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員が実施) 3 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中90%以上) 2 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中80%以上) 1 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中80%未満) | 4 進んであいさつができている児童(90%以上) 3 進んであいさつができている児童(80%以上) 2 進んであいさつができている児童(70%以上) 1 進んであいさつができていない児童(70%未満) |
| | | いじめの未然防止に向けた取り組みを行うとともに、児童の人権感覚を豊かにする。 | 道徳授業、体験的活動を学期に3回以上行い、人権や人とのふれあいに対する意識を高めていく。 | 4 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(全学級) 3 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(90%以上) 2 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(80%以上) 1 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(80%未満) | 4 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(90%以上) 3 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(80%以上) 2 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%以上) 1 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%未満) |
| 健やかな体の育成 | 自己の体力向上や健康維持・増進に取り組む習慣を身に付けさせる。 | 心と体のバランスも含めた体力・健康に対する意識を高める。 | 晴れた日の休み時間での外遊びを励行し、朝遊びの時間も活用しながら、児童の体力の向上を図る。 | 4 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中90%以上) 3 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中80%以上) 2 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中70%以上) 1 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中70%未満) | 4 体力が向上している実感できた児童(90%以上) 3 体力が向上している実感できた児童(80%以上) 2 体力が向上している実感できた児童(70%以上) 1 体力が向上している実感できなかった児童(70%未満) |
| | | 健康的な生活を送るための習慣づくりを図る。 | 早寝早起き・歯磨き・食事・衛生・新しい生活様式といった健康や食に関する指導を、年間10回以上行う。 | 4 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の90%以上) 3 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の80%以上) 2 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の70%以上) 1 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の70%未満) | 4 食事や健康について意識的に気をつけている児童(90%以上) 3 食事や健康について意識的に気をつけている児童(80%以上) 2 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%以上) 1 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%未満) |
| | | 交流教育を通して、児童の豊かな人間性を育む。 | 通常学級と特別支援学級との交流や共同学習を年5回以上行う。 | 4 5回以上実施した学年の割合(90%以上) 3 5回以上実施した学年の割合(80%以上) 2 5回以上実施した学年の割合(70%以上) 1 5回以上実施した学年の割合(70%以下) | 4 保護者の交流及び共同学習に対する肯定的評価(90%以上) 3 保護者の交流及び共同学習に対する肯定的評価(80%以上) 2 保護者の交流及び共同学習に対する肯定的評価(70%以上) 1 保護者の交流及び共同学習に対する肯定的評価(70%未満) |
| | | 特別な支援を要する児童に対する支援を実現する。 | 個別の指導計画の実現に向けた指導を継続するとともに、アセスから読み取れた課題の解決に向けて適切な支援を行う。 | 4 個別支援計画及びアセスを年2回以上作成し考察(90%以上の学級で実施) 3 個別支援計画及びアセスを年2回以上作成し考察(80%以上の学級で実施) 2 個別支援計画及びアセスを年2回以上作成し考察(70%以上の学級で実施) 1 個別支援計画及びアセスを年2回以上作成し考察(70%以下の学級で実施) | 4 保護者の特別支援に対する肯定的評価(90%以上) 3 保護者の特別支援に対する肯定的評価(80%以上) 2 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%以上) 1 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%未満) |
| 本校の特色 | 問題発見・解決能力や情報活用能力を育成する。 | 学校図書館や調べ学習室、一人一台端末を活用し、児童の問題発見・解決能力や情報活用能力を育成する。 | 学校図書館や調べ学習室、市立図書館の蔵書、タブレット端末などのICT機器を活用した授業を行う。 | 4 学校図書館やICT機器を活用した授業を毎日実施(全学級で実施) 3 学校図書館やICT機器を活用した授業を毎日実施(90%以上の学級で実施) 2 学校図書館やICT機器を活用した授業を毎日実施(80%以上の学級で実施) 1 学校図書館やICT機器を活用した授業を毎日実施(80%未満の学級で実施) | 4 学校図書館やICT機器の活用により学習理解の高まりを実感できた児童(90%以上) 3 学校図書館やICT機器の活用により学習理解の高まりを実感できた児童(80%以上) 2 学校図書館やICT機器の活用により学習理解の高まりを実感できた児童(70%以上) 1 学校図書館やICT機器の活用により学習理解の高まりを実感できた児童(70%未満) |
| | | 地域との連携を深め、地域に開かれた学校を実現する。 | 学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。 | 4 更新が年間600回以上 3 更新が年間550回以上 2 更新が年間500回以上 1 更新が年間500回未満 | 4 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(90%以上) 3 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(80%以上) 2 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%以上) 1 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%未満) |